



# 紀行「天・津・爛・漫」

## 『春景色』

天津市は三寒四温を繰り返しながら、日一日と暖かくなり、4月の始め頃はまだ蕾だった花々が一齐に咲き始めています。公園での美しい花々や歩道並木の開花、人々の服装も冬物から一挙に華やいだ服装に変わり、市内は春景色で彩られています。

この時期人々は、柳の綿毛が雪のように乱舞する中を歩き、春景色を満喫しています。私もまた春を満喫しながら、天津師範大学の近辺を散策しています。ご存じの通り、天津は初代総理周恩来氏\*1ゆかりの地であり、南開大学には氏の像が立っています。

また、その近くには市民の憩いの場「水上公園」もあります。私のいる八里台橋を挟んで天津大学、天津医科大学、南開大学、少し離れて旧天津理工大学（現在は移転）があり、まさに大学区といってよいでしょう。市民が公園と同様に自由に大学構内を散策し、キャンパス内の美しい花々を愛でている姿に接すると、大学がとても身近な存在となっていることを実感し、春景色を楽しんでいるところです。

2008.4.15 あきお記



▲天津師範大学の春景色



▲南開大学の春景色 I



▲南開大学の春景色 II



先生からの一言

OICE



伊藤 彰男

在天津師範大学  
国際交流センター客員教授  
(三重大学名誉教授)

日本と中国では、  
花の開花時期が少し  
違います。  
日本よりも中国は少し時期が  
遅れて4月中旬頃から  
開花します。  
緯度の関係でしょうね。



▲中国の四川大地震がありました。  
天津師範大学でも教職員と学生  
が自主的に寄付をしました。

### えつくすくんのまめちしき



\*1 周恩来

中国の政治家。南開中学出身（現南開大学）。中華人民共和国に奔走し、設立後は、行政・外交に手腕を発揮し、要職を歴任しました。  
1972年には、首相として日中国交正常化の共同声明に調印しました。

▲南開大学にある周恩来像

### 〈ひとり言〉



天津といえば、  
"天津甘栗"が思い浮かびます。  
比較的粒が小さく、味香りとも抜群です。むかし天津港から輸出されたことからこのように呼ばれるようになりました。



## 本の紹介



『特別支援教育臨床を  
どうすすめていくか  
—学校臨床心理学の新たな課題—』

その子らしい育ち・あり方・生き方の支援を、発達と教育の原点に立ち返り、臨床心理士・臨床発達心理士の視点で具体的・平易に述べた本。教師（を指す人）・保護者はもちろん、すべての人にぜひ読んでほしい本です。

著者／栗原輝雄（教育学部・特任教授）  
定価／1,000円（税別）  
発行／ナカニシヤ出版



『循環型社会の構築と農業経営』

環境負荷の小さい農業経営の展開条件を技術と人間の両面から解明した学術書。日本農業経営学会3年間の学会シンポジウム報告と討議を一冊に集大成しました。国内外の環境技術、環境問題の専門家も執筆し、院生必携書です。

編者／日本農業経営学会  
共著／石田正昭（生物資源学研究所・教授）  
波野野家（生物資源学研究所・准教授）他  
定価／4,200円（税別）  
発行／農林統計協会



『LD,ADHA,高機能自閉症等の  
子どものための指導教材』

本書は、日本LD学会が平成17（2005）年度に実施した第1回指導教材公募に受賞した教材を紹介しています。各地域の教育関係者が発達障害の子どもたちの特性に合わせて創意工夫した教材が満載で実際に活用することができます。

編者／日本LD学会  
共著／滝口圭子（教育学部・准教授）  
寺田容子（国立身体障害者リハビリテーションセンター）他  
定価／2,500円（税別）  
発行／明治図書出版



『図解 鋼構造の造形と設計  
—デザインと構造をつなぐ—』

学部後半の建築デザインの演習に適した教科書。構造技術と建築デザインの関係について、図解を主軸にわかりやすく実践的に説明しています。三重大学、名古屋工業大学など、東海地方の大学教員が共同で執筆。

編者／小野徹郎（名古屋工業大学・教授）  
富岡義人（工学研究所・准教授）  
定価／3,000円（税別）  
発行／鹿島出版会



『コンピューターサイエンス  
教科書シリーズ4  
『プログラミング言語論』』

プログラミング言語に関する基本的事項であるプログラミングパラダイム、構文および意味論を取り上げた理工系大学の学部生用の入門書です。

共著／大門口通夫（工学研究所・教授）  
五味 弘（沖ソフトウェア（株））  
定価／2,900円（税別）  
発行／コロナ社



『人工臓器イラストレイティッド』

医療の最先端技術を支える人工臓器の世界。複雑な仕組みや機能を、多くの専門家や医師の視点でカラーイラストにより、読みやすく解き明かしています。

編集／日本人工臓器学会  
取材協力／宮本啓一（工学研究所・准教授）  
定価／2,200円（税別）  
発行／はる書房



『アメリカン・ルネサンスの現在形』

アメリカの個人主義の理想を語ったエマソン、ホーソーンの「緋文字」やメルヴィルの「白鯨」のような迫力ある小説、エコロジーの豊かな源泉ローアの『ウォールデン—森の生活』など、19世紀アメリカ文学は、現代に生きる思考が特徴であることを明らかにしています。

編者／増永俊一（関西学院大学・教授）  
共著／小田敦子（人文学部・教授）他  
定価／3,500円（税別）  
発行／松柏社



『新自由主義改革と日本経済』

規制緩和や民営化を推進した市場重視の「新自由主義思想」が日本に波及した経緯と、その結果抱えるにいたった切実な問題の根源を各分野の専門家が生活者の視点から浮き彫りにしています。

共著／櫻谷勝美（人文学部・教授）  
野崎哲哉（人文学部・教授）他  
定価／1,800円（税別）  
発行／三重大学出版会